



# College report

vol.25  
2021.11

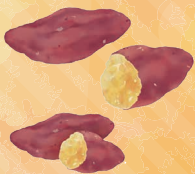
## 東京聖栄大学報



学生が作成したメニューカレンダー (P7)



元気食堂メニューの開発・試作 (P7)



幼大連携の食育活動 (P2)



学内奨学生授与式 ※撮影の為マスクを外しています



### ● C O N T E N T S ●

学長メッセージ／大学トピックス……………	2・3	後援会／聖栄会／人事……………	10
管理栄養学科の活動／食品学科の活動……………	4・5	令和2年度決算報告……………	11・12
研究関連／地域共創……………	6・7	附属わたなべ幼稚園／附属調理師専門学校……………	13
学生支援センター／学友会……………	8・9	大学トピックス／学生募集要項……………	14

## 学長メッセージ



### 状況変化対応能力を発揮： 総合「食」専門家育成大学の新たな認識

学長 田所 忠弘

東京聖栄大学には「食」追究維持の原動力、即ち日本で約2万人弱もの命を奪っているコロナ危機に対しても、食の新たな時代の幕開けに創造力と実践力を持ち合わせた学生教育とその育成に全教職員スタッフが敢然と支援し、その危機を乗り越えました。一方、食品衛生管理者教育養成施設、都による厳しい査察講評でもほぼ満点の評価も頂戴致しました。よって改めて本学が対外的にも力強さを発揮できる大学である点、学生、保護者の皆様、卒業生、全教職員にも、再認識頂ければ幸いです。常識と個人自由度、生命と経済バランスをどう天秤にかけ、いかに実践的生活を維持できるかが世界中の指導者達の苦慮現実かと思えます。本学の強さは「食」意識と生活を支える人の「感性」と裏付「科学性」が全教職員の意識にあるが故と言ってもよく、この機、本学を再認識し、新しい価値観共有可能な大学への継続努力を皆で続けましょう。

## 大学トピックス

### わたなべ幼稚園での食育（幼大連携）

9月17日に小林教授・風見教授・吉田講師のゼミ生（4年次生27名）が「野菜レンジャー参上！野菜をしっかりと食べよう！」をテーマに野菜を好き嫌いせず積極的に摂取出来るように、年長園児のみなさんにわかりやすく演劇とクイズ形式で食育を行いました。学生考案の演劇は、野菜嫌いで体調の悪い市民に対し、王様が野菜レンジャーを使わせ、野菜を食べることの重要性を学び、市民が元気になる内容でした。幼稚園の管理栄養士の先生方のご指導のもと、給食の献立も学生が立案しました。特にデザートのカステラゼリーは、ブルーベリーを使用しレモンソースをかけることにより、色が変わるサイエンススイーツにしました。保護者には野菜を食べやすくする工夫点などを掲載したリーフレットをお渡ししました。今年も園児が大変喜んでくれました。



野菜レンジャー参上！



クイズ



レモンソース  
をかけると…

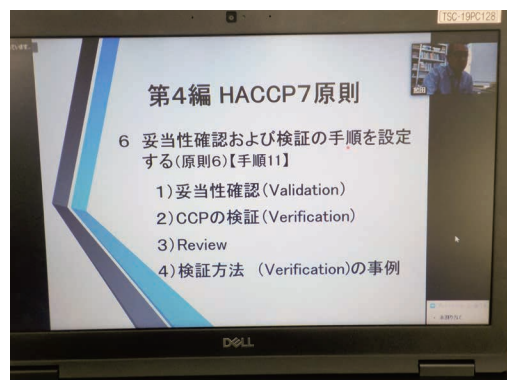
給食

色が変わる！

## HACCP管理者ワークショップ（オンライン）実施

HACCP管理者（日本食品保蔵科学会認定）は、食品衛生法で定められた「HACCPに沿った衛生管理の制度化（令和3年6月）」においてもHACCPシステムについて相当程度の知識をもつと認められる制度です。原則としてすべての食品等事業者は、この制度に取り組むことが義務化され食品関係に就職する学生には有益な資格です。

また、食品、衛生・微生物、生化学・化学、それらに関する実習・実験等の学会が認定した科目を24単位以上取得した学生がワークショップに臨めます。今年度は9月6日～8日の3日間に亘り、3、4年次生の学生25名（食品学科8名、管理栄養学科17名）がワークショップ（オンライン）に参加し、認定試験に合格しました。



オンライン資料の一部

## 葛飾区と東京聖栄大学との連携

### 【連絡協議会】

令和3年10月19日に葛飾区との包括連携協定に基づく連絡協議会が開催されました。

本学と葛飾区は、「連携・協力に関する協定」を平成25年9月30日に締結して今年で9年目を迎えました。平成17年の開学以来、地域の自治体である葛飾区との連携・協働による開かれた大学として、地域貢献活動を推進してきました。

連絡協議会では、令和3年度及び令和4年度の連携・協力事業を確認しました。これらの事業は、本学と葛飾区相互の発展と区民の生活の向上に寄与することを目的としたものです。定期的に連絡協議会を開催して円滑に事業が進むよう取り組んでいます。



## 防災に関する学生・教職員の取り組み

例年、秋頃に実施している防災訓練ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から避難及び体験型の訓練実施を中止としました。なお、学生の防災力の意識向上を図ることとして、安全確保に関する避難経路や本学の防災備蓄品等の情報を集約した小冊子を作成し、全学生に対して周知を図りました。

また教職員は、FD・SD合同研修会として8月に葛飾区都市整備部長様を、お招きして葛飾区全体の防災対策等に関わる「来るべき大規模水害に備えて」の講話を聞き、葛飾区の浸水対応型市街地・構想や新小岩地区を中心とした河川等の浸水を想定した水害リスクと避難の備え等について理解を深めました。



## 管理栄養学科の活動

### 臨地実習報告会

管理栄養学科では、10月に4年生による臨地実習（臨床栄養分野）の報告会が行われました。新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、実習期間や場所の変更、例年とは異なる実習内容となる施設もありましたが、本学では病院・介護施設の管理栄養士の先生方のご支援とご協力で、現場での臨地実習を行うことができました。報告会では、各施設での実習内容や課題研究の報告と質疑応答により、同学年だけでなく下級生も次年度に向けての有意義な事前学習の機会を得ることができました。



### かつしかサッカーチーム「南葛SC」とのコラボ事業スタート

「キャプテン 翼」原作者 高橋陽一氏（葛飾区内在住）を代表としたサッカーチーム「南葛SC」様から令和3年度春、「地域の様々な課題解決のために一緒に活動しませんか？」とお声がかかり、地域の健康づくりや食育活動、選手の栄養サポート等ご提案を頂き、現在話し合いを進めているところです。

今年度は、選手対象の栄養セミナーとジュニアチーム保護者対象の食育セミナーを実施予定です。

また、区内企業ミヨシ油脂(株)様が経営している「カフェ マルガパーネ」で選手考案のパンの開発にも関わる予定です。セミナーの様子等は、次号にてご紹介します。



南葛SCポスター

### 研究室紹介

#### 人文科学研究室（カウンセリングルーム室）岡田 弘 教授

カウンセリング心理学による発達課題の研究（分析・ケア・予防・開発・理論構築を含む）と生物・心理・社会モデルによる病態像へのケアの研究をしているのがこの研究室です。本学のカウンセラーでもあり、カウンセリングサイコロジストでもある岡田弘が在籍している研究室です。また、教育現場（栄養指導場面を含む）の様々な問題にもカウンセリング心理学の視点から援助できるように研究しています。研究の成果は、「自己表現法」「心理学」「教育心理学」「教育相談の理論と方法」の授業の中で紹介しています。

#### 解剖生理学・病理学研究室 正田 良介 教授

40年間の臨床医生活の中で「栄養」の大切さを痛感して、4月から本学で仕事をさせてもらっています。管理栄養士は「病をもつ人」を栄養の面から支えるため、「栄養」のプロフェッショナルであると同時に、「病」のことも知っておく必要があります。医師や看護師をはじめ多くの職種とチームとして仕事をする基礎としても、身体の仕組みや病気のこと（＝解剖生理・病理学）を理解してもらうために、臨床栄養学教室と協力して教育に関わっています。栄養の中での解剖生理・病理学は、健康な人が病にならないため、そして、高齢者が健康寿命を保つためにも、今後ますます重要になります。授業や試験対策をする中で色々な気づきができるようになってくればと考えて仕事をしています。



## 食品学科の活動

食品学科では就職活動に役立つ授業として、「インターンシップ」と「キャリアリサーチ」を開講しています。

前者は食品関連企業や葛飾区、江東区等の区役所・保健所にご協力いただき、3～5日程度の期間、実務の現場を経験させていただくものです。一般的に企業等が独自に実施しているインターンシップよりも、より踏み込んだ研修プログラムを組んでいただける場合も多く、これに加え、事前の企業等へのコンタクト、事後のご挨拶、研修中の心得等、学生が社会人となるための基礎・常識を学習します。また、研修で学んだことをお互いに発表して討論する研修報告会を開催することにより、より幅広い企業で体験を履修者全員で共有することができます。

後者は、就職試験の対策講座や、ライフワークを見つけるための自己啓発、ビジネス文書・プレゼンテーション能力等に関して、これらの専門家である外部講師による研修を行います。加えて、就職対象となる業界・業種の解説、健全な企業の見極め方の解説や、本学就職支援アドバイザー及び本学卒業生による食品企業での仕事及び就職活動の実体験の紹介等を行っています。

インターンシップは、断続的な緊急事態宣言の中、残念ながら今年も中止となりましたが、キャリアリサーチは感染防止対策を取りつつ対面で実施しており、学生達も通常の大学の学びとはまた異なる気概をこめて授業に臨んでいます。

就職活動支援については、これら正規授業のほかに、学生支援センターによる各種研修会や、公務員受験講座等を開催しています。これに加えて、食品学科では食品企業のOBの方2名を就職支援アドバイザーに迎え、3年次生、4年次生に対面・オンラインの両方で面談を実施して、学生の就職活動意識を高めるとともに、企業を選ぶ際のポイント、アプローチの方法等の就職活動に関するアドバイスや、企業での経験を生かした模擬面接の実施など、積極的に就職活動を支援しています。

## 研究室紹介

### 食品衛生学研究室 貝沼 章子 教授

今年4月より、伏協教授の後任として食品衛生学研究室に赴任いたしました貝沼章子です。前職では、主に発酵用の微生物を対象として研究を行い、特に食酢醸造に用いられる酢酸菌の発酵メカニズムを分子レベルで解析したり、ゲノム情報を用いて系統の再整理を行ったりしていました。今までは人にフレンドリーな微生物を中心に扱ってきましたが、本学では食品衛生ということで、人に有害な微生物を対象とすることになります。しかしいづれにしても微生物、今までの経験と知識を生かして食の安全に取り組んでいきたいと考えております。また、「食の安全・安心」に関しては、社会的・文化的な要素も多いため、単に自然科学的な側面だけでない総合的な考察を加えていきたいと思っています。聖栄大の学生さんたちは素朴で気立ての良い人が多く、楽しく過ごしておりますが、この大学の中で一緒に成長していければと思っています。よろしくお願いいたします。



### 調理科学研究室 熊谷 美智世 准教授

今年4月より調理科学研究室に在籍しております。これまでは主にマスメディア等を通じて食に関する情報を発信する立場にありましたが、今後は研究および教育活動を通じて調理を中心とした食の面白さを伝えていきたいと思っています。

調理科学研究室では調理中に起こる食品の様々な変化とおいしさとの関わりをサイエンスの視点から研究するだけでなく、社会的な視点なども取り入れながら調理について研究していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



## 研究関連

### 科研費 KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

#### ○初等・中等教育家庭科における「だし教育コンテンツ」の開発と活用

##### 基盤研究（C） 研究代表者：福留 奈美准教授

「だし」は和食文化を特徴づける重要なキーコンテンツのひとつです。小学校家庭科では、これまでも5年生のみそ汁を作る調理実習でだしを取ることをしてきましたが、新しい学習指導要領（平成29年告示）では「和食の基本となるだしの役割」が明記され、「だし」をどう教えるかが問われることになりました。しかし、だしの取扱いに関する教師研修の機会も教材研究のための情報蓄積も不十分な現状があります。そこで、本研究では、だし教育のためのさまざまな教育コンテンツ（たとえば教材として使いやすい図表や各種データ、動画、ワークシート、活動アイデアなど）を開発し、現場教師の意見を反映して改良を加え、だし教育コンテンツのモデルとして情報公開し提案することを目指しています。

#### ○「スポーツ傷害（靭帯損傷・筋損傷・疲労骨折）を規定する機能的遺伝子多型の解明」

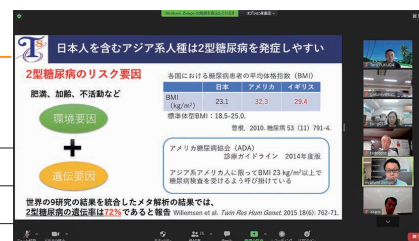
##### 基盤研究（B）（一般）研究分担者：膳法 浩史講師（代表：福 典之 順天堂大学准教授）

スポーツ傷害は競技力に対して単にマイナスに影響するだけでなく、時として選手生命さえも脅かすことがあります。スポーツ傷害の予知として遺伝子情報が活用できるのではないかと考えています。具体的には、競技アスリートを対象として靭帯損傷、筋損傷、疲労骨折といったスポーツ傷害に関連する遺伝要因について、全ゲノムDNAを対象とした網羅的遺伝子多型解析という手法を用いて明らかにします。共同研究者と協力することで既に二千人を超えるアスリートのDNAを得ています。スポーツ傷害に関連する遺伝子とその機能を解明することで、個人対応型のスポーツ傷害予防法の開発に貢献することを最終目標としています。私の担当は遺伝子解析であり、今後更なる発展を遂げるビッグデータ解析に対応できるようにしています。

#### 特別研究・共同研究発表会

令和2年度特別研究・共同研究発表会を令和3年7月24日（土）に実施しました。今年度も新型コロナウイルス対策の為、オンライン形式での開催となりました。

No.	代表申請者	研究別	研究課題
1	片山 佳子	共同	落花生味噌の抗がん作用Ⅱ
2	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明
3	膳法 浩史	特別	骨格筋繊維組成と2型糖尿病発症における因果関係のある遺伝的要因の同定
4	大塚 静子	共同	給餌方法の違いによるタンパク質ならびに脂肪摂取量がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について（Ⅲ）-2 調整食給餌-
5	小林 陽子	特別	地域子育て支援拠点における乳幼児を対象とした食育に関する研究
6	風見 公子	共同	幼児期の食生活習慣について
7	小林 陽子	共同	葛飾区との協働による元気な食応援店（旧食育サポート店）における情報発信に関する研究



#### 令和3（2021）年度 特別研究・共同研究

本学教育研究取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。今年度の特別研究・共同研究計画申請について以下の表の通り採用決定しました。

##### 令和3年度 特別研究・共同研究計画申請者一覧

No.	代表申請者	研究別	研究課題
1	北村 義明	共同	匠の調理技術が調理・加工食品の機能に及ぼす影響に関するフィジビリティスタディー
2	小林 陽子	特別	葛飾区との協働による「元気な食応援店（旧食育サポート店）」における情報発信に関する研究
3	福田 亨	特別	食品含有成分による骨代謝調節機構の解明
4	大塚 静子	共同	高タンパク質・高脂肪食摂取がラットの腎臓石灰化に及ぼす影響について
5	風見 公子	共同	幼児期の食生活習慣について
6	風見 公子	共同	食欲の抑制の研究 食事のたんぱく質エネルギー比率の相違で食欲に相違がみられるか
7	片山 佳子	特別	落花生味噌の機能性
8	吉田真知子	特別	幼児を持つ保護者のための食育意識尺度の信頼性の再検証

## 地域共創・食育活動

### サミットストアと連携した知っ得メモの展示

平成21年から管理栄養学科「応用栄養学Ⅲ」の授業の一環として作成している「知っ得メモ」は、令和3年度で12年を迎え、通算150号発行致しました。

今年度は、近隣のスーパー「サミット」店内入り口とミニキッチンコーナー掲示板にて、「知っ得メモ」をはじめ、大学と附属調理師専門学校による「食べきり・使いきりレシピ」等の記事を情報発信しております。

大学から完成した記事等を提供、掲示物の作成はサミットスタッフの方々を作成してくださいます。

食育に関心があるサミット店長様から「隣なので、何か協力し合うことができれば」というお申し出により実現しました。



サミット店内写真

### 元気食堂推進事業「イトーヨーカドーとの協働によるお弁当販売」とカレンダー作成

令和3年度葛飾区との協働事業である元気食堂推進事業は、管理栄養学科3年生が開発したお弁当を「アリオ 亀有イトーヨーカドー」店内で販売する予定です。

保健所から提示された旬の食材を使い、野菜140g以上、エネルギー 450～650kcal未満、食塩相当量3.0g未満等の基準に則り、試作を繰り返し、仕上げました。イトーヨーカドーの担当者との「売れる弁当のメニュー構成・色どり・内容に見合った弁当箱の選択」等、一緒に検討しながら完成しました。葛飾区長様にもご披露する機会も予定されております。



さらに、12班で作成したレシピを東京工芸大学の勝倉先生ゼミの協力のもと、カレンダーと料理カードにしました。取り組んだ成果が行政や地域で披露できることは貴重な経験となりました。

### 葛飾区立鎌倉小学校 出前授業報告「だしの教室」

10月18日（月）、東京都葛飾区立鎌倉小学校において、5年生2クラスの児童を対象に、和食の出前授業「だしの教室」が開催されました。本学食品学科の福留奈美准教授が、（一社）和食文化国民会議の調査・研究部会幹事として講師に招かれ、食品学科の学生1名もスタッフとして参加しました。

授業内容は、5年生の家庭科で取り組む「みそ汁を作ろう」の単元と連動したものです。体験を通じた学びを中心に、だしをとるための食材（昆布、かつお節、煮干し、干し椎茸）の観察、昆布だしとかつおだしの飲み比べ、だしの「うま味」を味わい感じることをしました。また、煮干しでとっただしと3種類の味噌を味わい、合せ味噌にして自分好みの味噌汁を作り、「おいしい」「ちょっと薄かった」等、各々の感想を述べあいました。味噌汁の実については、葛飾区の野菜に注目しつつ地産地消のメリットとしてフードマイレージとCO<sub>2</sub>抑制についてもふれました。

授業の最後には、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」の4つの特徴を知り、和食を通じて感謝の気持ち「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」を表すことを学び授業が終了しました。

授業を受けて、給食の味噌汁に反応する児童や「家でも作ってみたい!」という児童が多数いたそうです。担任の先生からは、和の文化に興味をもつきっかけになったと思うという嬉しいコメントをいただきました。

次世代へ向けた「出前授業」を通じて、今後も和食の普及・啓発活動に取り組むとともに、学生の教育機会となる食育活動を展開していきます。



## 学生支援センター

### 令和3年3月卒業生就職結果

第13期生（令和3年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で97.0%となりました。学科別には、管理栄養学科が98.6%、食品学科が94.9%でありました。

管理栄養学科卒業生は、管理栄養士として公務員、医療・福祉施設や給食受託会社、薬局等に勤務する者が多く、食品学科卒業生は、食品衛生監視員や食品会社の研究・技術部門や営業・販売部門に就職するなど卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しております。卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

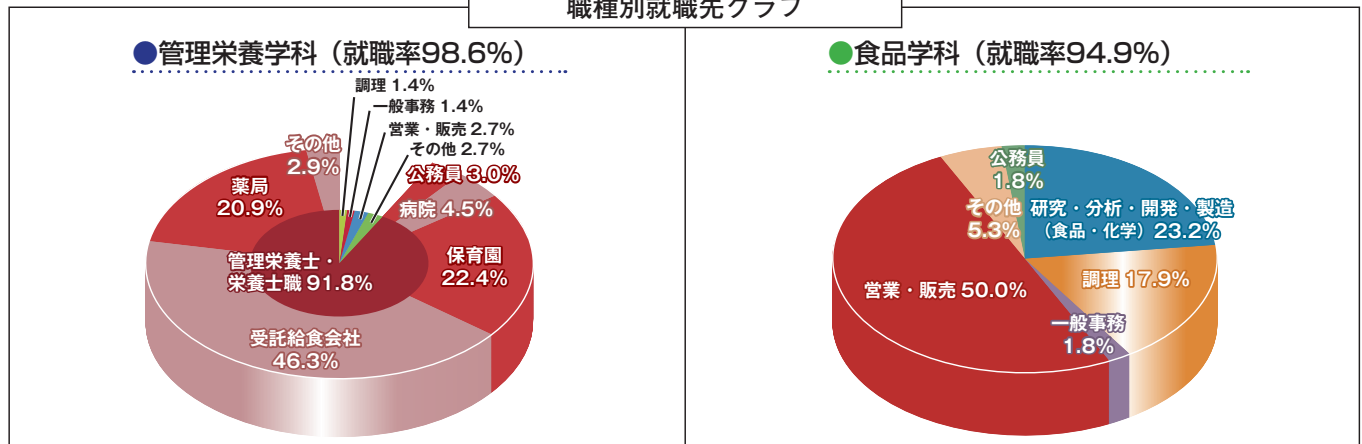
#### <進路・就職結果>

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	73	56	129
就職未内定者	1	3	4
<就職希望者>	<74>	<59>	<133>
専修学校進学者	1	3	4
その他	2	7	9
卒業生	77	69	146

【卒業生 146 人 / 就職希望者数 133 人 / 就職決定数 129 人 / 専修学校進学者 4 人】

### 第13期生(令和3年3月卒業生)の就職状況(就職率97.0%)

#### 職種別就職先グラフ



### 主な就職先

#### 管理栄養学科

##### <管理栄養士・栄養士職>

【公務員】 越谷市学校栄養職員（非常勤）、戸田市学校栄養職員（非常勤）  
 【福祉施設】（社福）共愛会、（社福）善光会  
 【給食受託会社】 エームサービス㈱、㈱グリーンハウス、コンパスグループ・ジャパン㈱、シダックスフードサービス㈱、日清医療食品㈱、業隠勇進㈱、富士産業㈱、㈱ミールケア、㈱メフォス、㈱LEOC、㈱レバスト  
 【保育園】 ㈱さくらさくみらい、（社福）あすみ福祉会、（社福）おもいやり福祉会、（社福）さわらび福祉会、（社福）崇仁会、（社福）高砂福祉会  
 【薬局】 ウェルシア薬局㈱、㈱くすりの福太郎、㈱コカラファイン、サンハルク㈱、㈱トモズ、㈱マツモトキョシ  
 【その他】（医）志翔会 つだ歯科矯正歯科、ひかり歯科クリニック  
 <その他>  
 （調理）㈱セブン&アイ・フードシステムズ  
 （営業・販売）㈱原田

#### 食品学科

##### <食品関連企業>

【公務員】 東京都特別区 食品衛生監視員  
 【研究・分析・開発・製造(食品・化学)】 赤城食品㈱、アサマ化成㈱、イニシオフーズ㈱、㈱ヴィ・ディー・エフ・サンロイヤル、㈱桔梗屋、壽食品工業㈱、㈱サンデリカ、㈱叙々苑、ティーエスフーズ㈱、㈱ニッセーデリカ、フジパングループ本社㈱、㈱マルテ小林商店  
 【調理】 ㈱アラスカ、㈱すかいらくホールディングス、㈱シー・アイ・シー  
 【営業・販売】 関東日本フード㈱、生活協同組合ユーコープ、㈱人形町今半、㈱ボンパドウル、㈱マルエツ、ミニストップ㈱、㈱美濃吉食品、山崎製パン㈱、㈱ユニマツライフ、㈱洋菓子舗ウエスト、㈱ライフコーポレーション、㈱ロック・フィールド  
 <その他>  
 ㈱江東微生物研究所

## 【高等教育の修学支援新制度】

高等教育の修学支援新制度は、大学等の高等教育における授業料や入学金の減免と日本学生支援機構の給付型奨学金による制度として2020年4月から始まり、文部科学省から支援対象校として認定を受けています。修学支援新制度における申請は、給付型奨学金『日本学生支援機構』、授業料等減免『大学（本学）』夫々手続きが必要です。また、本制度の詳細は下記ホームページをご覧ください。

#### <修学支援新制度に関するホームページURL>

- 文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度について」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

- 独立行政法人日本学生支援機構ホームページ「進学資金シミュレーター」（支援区分確認等）

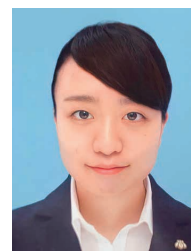
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

修学支援新制度に関するお問合せは、学生支援センターまで



## 学友会

### 学友会 会長：佐藤 里彩（管理栄養学科3年）



今年度、4月下旬より発令された緊急事態宣言は、感染拡大の状況から期間延長を繰り返す中、9月24日から後期授業が始まり、ようやく緊急事態宣言も解除となりました。

大学では、引き続き感染防止対策を徹底し、対面・オンライン授業を併用し実施しております。また、長期の感染状況を鑑み、非常に心苦しい限りではありますが、聖栄葛飾祭を始めとする各行事が中止となりました。その中でも私たちは、それぞれの研究活動やゼミを通して地域貢献等を含めて、授業だけではない活動を精一杯取り組んでいます。

5月に行われた学友会総会にて今年度のメンバー32名が決まりました。今後も感染の状況を見据えながら、学生の皆さんの学校生活がより良いものとなるよう学友会役員一同励んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

### 大学祭実行委員会 委員長：柳下 麗菜（管理栄養学科3年）

大学祭実行委員会です。例年の活動ではこの時期には大学祭準備の最終段階ですが、去年に引き続き開催が中止となってしまいました。中止が決まる以前は前任の委員長と相談しながら、大学祭で例年開催しているお笑いライブの打ち合わせや、テーマ考案などを予定していました。現在、私たち実行委員会メンバーの取り組みは、例年に学園祭を開催した際、ご協賛をいただいた地域の近隣商店の方々への挨拶回りや、来年度の大学祭実行委員についての調整などが主な活動となっています。

### 体育祭実行委員会 委員長：喜入 祐人（食品学科3年）

体育祭実行委員長の食品学科3年喜入祐人です。体育祭は学生間の交流を図り、クラス全体で親睦を深める行事です。しかし新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から令和2年度より体育祭の実施を中止しています。そのため体育祭シーズンをすぎた今現在、体育祭実行委員会は活動を停止しています。今後の活動予定としては、来年度の体育祭実施に向けて、競技アンケートの集計・プログラムの作成、鉢巻の洗濯・アイロンがけ、グラウンドの下見・器具の確認などです。まずは4月に行う競技アンケートの作成と集計を目的として準備を行ってきたいと考えています。来年度は新型コロナウイルスも収束し、また体育祭が実施できることを切に願っています。

### 部・同好会責任者 代表：佐藤 玲菜（管理栄養学科3年）

夏休みに部・同好会責任者達で6号館厚生施設棟の確認、後援会から寄贈していただいたランニングマシン2台を組み立てました。合計で3台のランニングマシンが大学体育館内にあります。現在、新型コロナウイルス感染症対策により全ての部・同好会の活動を停止しておりますが、活動が再開しましたらぜひ使用して頂けるととても嬉しいです。

未だに全ての部・同好会の活動再開予定の目処はついておりませんが、日に日に状況が好転していき、また楽しく皆さんで活動できる時期が来る事を願っています。

前年度は、大変な状況の中にも関わらず学友会にご協力をいただき大変ありがとうございました。

## 後援会の活動



後援会会長  
笛木 敦

後援会は本学の学生、保護者と大学側が密接な連携を図り、学生生活や大学の教育事業の振興・発展・向上を支援することを目的として活動しております。

都心部を中心に、新規感染者数が十分に下がらず、新型コロナウイルスの感染拡大は収束の兆しが見えません。

しかしながら、昨年度から、コロナ渦で感染防止対策の取り組みとして、オンライン（ZOOM）を利用した役員会を行っており、本年度も、オンライン（ZOOM）にて開催することができました。

後援会としましても、皆様が有意義な大学生活を過ごすことができますよう、学友会活動の補助や就職支援活動を進めて参ります。

## 聖栄会の活動



聖栄会会長  
松崎 政三

昨年に続き夏頃より猛威を振るった新型コロナウイルス感染、第五波も10月に入った頃より少しずつ落ち着いて来ていますが、まだまだ油断のできない状況下にあります。同窓会活動も新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、大学と連携し推し進めています。同窓会は会員の親睦と資質の向上を目指し、そして大学行事へ積極的に参加しながら、卒業生一人一人が社会において活躍し、母校の知名度を高めていくことが努めであると考えております。在校生の皆様には、各分野で活躍されている卒業生の活躍状況を知っていただき進路を考える場を作り、そうしたことをきっかけにして同窓会の組織の拡大と充実に繋げて行きたいと考えております。

### 聖栄会の主な活動 令和3年度

○4月 聖栄会だより発行 ○6月 定期総会・役員会 ○令和4年3月 卒業生への記念品の贈呈  
※例年行っております「体育祭への協賛」「大学祭の協力」については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により活動を自粛しております。

## 人事について (順不同 敬称略)

### 職員

#### ■退職

令和3年6月30日付  
法人事務局総務部施設管理課主任  
飯田真由美

令和3年9月30日付  
大学図書館事務室（司書）兼法人事務局秘書室（臨時）  
森田 裕恵

#### ■採用

令和3年10月1日付  
大学図書館事務室（司書）（臨時）  
景山 萌

### 訃報

本法人顧問 林淳三先生が令和3年6月8日、ご逝去されました。（享年98歳）  
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

# 令和2年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

令和2年度の財務状況は、財政計画に基づき収入増、支出抑制の予算編成を行いました。事業活動収入は前年度比1,156万円増の12億9,415万円となりました。

支出については、コロナウイルス感染症対策としての支出も多くなり、前年度比3,065万円増の13億4,429万円となり、基本金組入前当年度収支差額は、5,014万円の支出超過（赤字）となり、2期連続の支出超過となりました。

## 1. 資金収支計算書

令和2年度の資金収支規模は、29億3,069万円となり、前年度より3億6,839万円減少していますが、有価証券の早期償還に伴う売買1億9,153万円の減少及び定期預金解約収入1億3,000万円等の減少が主な要因です。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は17億5,787万円で、支出額は17億5,078万円となり、翌年度繰越支払資金は709万円増の11億7,990万円となりました。

## 2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は12億9,415万円で、事業活動支出は13億4,429万円であり、基本金組入前当年度収支差額は5,014万円の支出超過（事業活動収支差額比率△3.9%）となり、基本金組入額8,522万円を控除した当年度収支差額は1億3,537万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率111.2%）

その結果、翌年度繰越収支差額は7億9,361万円と支出超過額が増加しました。

資金収支計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）（単位 千円）

	資金収支計算書			
	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,005,092	1,005,247	△155
	手数料収入	13,770	13,928	△158
	寄付金収入	5,000	5,420	△420
	補助金収入	203,952	203,948	4
	国庫補助金収入	156,401	156,400	1
	都県補助金収入	45,417	45,415	2
	区市補助金収入	2,134	2,133	1
	資産売却収入	476,419	476,418	1
	付随事業・収益事業収入	10,842	9,326	1,516
	受取利息・配当金収入	44,582	44,579	3
	雑収入	9,668	9,949	△281
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	411,292	428,856	△17,564
	その他の収入	12,930	12,928	2
	資金収入調整勘定	△452,114	△452,728	614
	前年度繰越支払資金	1,172,817	1,172,817	
収入の部合計	2,914,250	2,930,688	△16,438	
支出の部	人件費支出	741,889	741,491	398
	教育研究経費支出	301,851	302,277	△426
	管理経費支出	97,867	94,432	3,435
	借入金等利息支出	1,100	1,100	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	5,855	5,854	1
	設備関係支出	73,116	72,972	144
	資産運用支出	505,049	508,938	△3,889
	その他の支出	16,762	27,920	△11,158
	〔予備費〕	2,643		2,643
	資金支出調整勘定	△16,572	△16,421	△151
	翌年度繰越支払資金	1,172,470	1,179,905	△7,435
	支出の部合計	2,914,250	2,930,688	△16,438

事業活動収支計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）（単位 千円）

	事業活動収支計算書			
	科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	1,005,092	1,005,247	△155
	手数料	13,770	13,928	△158
	寄付金	5,739	6,163	△424
	経常費等補助金	203,952	203,948	4
	国庫補助金	156,401	156,400	1
	都県補助金	45,417	45,415	2
	区市補助金	2,134	2,133	1
	付随事業収入	8,042	6,546	1,496
	雑収入	9,668	9,953	△285
	教育活動収入計	1,246,263	1,245,785	478
	事業活動支出の部			
	人件費	748,162	747,764	398
	教育研究経費	491,137	490,372	765
	管理経費	103,811	102,167	1,644
	徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	1,343,110	1,340,303	2,807	
教育活動収支差額	△96,847	△94,518	△2,329	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	41,502	41,584	△82
	その他の教育活動外収入	2,800	2,800	0
	教育活動外収入計	44,302	44,384	△82
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	1,100	1,100	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	1,100	1,100	0	
教育活動外収支差額	43,202	43,284	△82	
経常収支差額	△53,645	△51,234	△2,411	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	2,603	2,602	1
	その他の特別収入	1,331	1,379	△48
	特別収入計	3,934	3,981	△47
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	2,730	2,889	△159
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	2,730	2,889	△159
	特別収支差額	1,204	1,092	112
	予備費	0		0
	基本金組入前当年度収支差額	△52,441	△50,142	△2,299
基本金組入額合計	△50,000	△85,224	35,224	
当年度収支差額	△102,441	△135,366	32,925	
前年度繰越収支差額	△658,241	△658,241	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△760,682	△793,607	32,925	

### 3. 貸借対照表

令和2年度末の資産総額は8,245万円減の97億18万円です。固定資産は9,361万円減の85億855万円になり、流動資産は1,116万円増の11億9,163万円となりました。

負債総額は、借入金返済などで3,231万円減少し、8億4,489万円となりました。

純資産は5,014万円減の88億5,529万円となり、財政としては良好な状況です。

貸借対照表 (令和3年3月31日)

(単位 千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	8,508,549	8,602,163	△93,614
有 形 固 定 資 産	5,250,620	5,368,387	△117,767
土 地	1,889,389	1,889,389	0
建 物	2,853,394	2,971,381	△117,987
その他の有形固定資産	507,837	507,617	220
特 定 資 産	564,091	530,201	33,890
そ の 他 の 固 定 資 産	2,693,838	2,703,575	△9,737
流 動 資 産	1,191,627	1,180,463	11,164
現 金 預 金	1,179,905	1,172,817	7,088
そ の 他 の 流 動 資 産	11,722	7,646	4,076
資 産 の 部 合 計	9,700,176	9,782,626	△82,450

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	357,236	363,184	△5,948
長 期 借 入 金	36,660	48,880	△12,220
退 職 給 与 引 当 金	320,576	314,304	6,272
流 動 負 債	487,649	514,009	△26,360
短 期 借 入 金	12,220	12,220	0
前 受 金	428,856	445,239	△16,383
そ の 他 の 流 動 負 債	46,573	56,550	△9,977
負 債 の 部 合 計	844,885	877,193	△32,308
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金	9,648,898	9,563,674	85,224
第 1 号 基 本 金	9,520,898	9,445,674	75,224
第 2 号 基 本 金	40,000	30,000	10,000
第 4 号 基 本 金	88,000	88,000	0
繰 越 収 支 差 額			
翌年度繰越収支差額	△793,607	△658,241	△135,366
純 資 産 の 部 合 計	8,855,291	8,905,433	△50,142
負債及び純資産の部合計	9,700,176	9,782,626	△82,450

※上記以外につきましては、本学ホームページ内、情報公表の11.財務情報に記載しております。

そちらでご確認ください。(URL: [https://www.tsc-05.ac.jp/about\\_us/jouhou\\_koukai/#](https://www.tsc-05.ac.jp/about_us/jouhou_koukai/#))

## 東京聖栄大学 教育研究充実募金のお願い

本学は平成17年4月、聖徳栄養短期大学を改組して東京聖栄大学を創立以来、社会の急激な変遷に対応して、着々と健康・栄養・食品の教育に関わる大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。

現在、新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言解除後も予断を許さない状況です。

本学におきましては、このような困難な状況の中、大学生活を安全安心に過ごすための保健管理や環境衛生を良好に保つよう感染防止の取組を進めて、教育機関としての役割を維持するため対面授業を基本に一部オンライン授業を実施しております。

さて、本学では、予てから教育研究の充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究充実募金」を行ってきました。この寄付募金は財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださいますと誠に有難うございました。

つきましては、現在新型コロナウイルスによる厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、この寄付金は、**個人の場合は特定公益増進法人への寄付金として所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。**また、**法人の場合は、日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。**

### 募金要綱

1. 目的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
  2. 募金目標額：1千万円
  3. 寄付金額：1口1万円
  4. 募集期間：令和4年3月末まで
  5. 申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
- ◎この寄付金は任意ではありますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。

詳細については下記にお問い合わせください。

学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係

TEL 03-3692-0211 (代)

### 募金申込状況

平成21年度から令和2年度までの募金申込状況は下表のとおりです。この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)	年度	申込件数	金額 (円)
平成21年度	18	4,100,000	27年度	139	8,280,000
22年度	53	7,665,000	28年度	109	5,935,000
23年度	50	6,790,000	29年度	95	6,490,000
24年度	110	7,910,000	30年度	73	5,930,000
25年度	130	8,395,435	令和元年度	83	6,628,000
26年度	137	6,855,000	2年度	56	5,390,000

## 東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園の活動

幼稚園では今年もコロナ禍の為、夏のプール遊びやお泊り会、夕涼みに夏季保育などの楽しい行事が中止となりました。そこで、夏休みの間に少しでも楽しめる内容の行事をと8月3日から5日の三日間で分散型のお楽しみ会を企画いたしました。

1学期中に園児と教員で飾り付けや遊びに必要な物をたくさん準備しました。当日は全園児が作った提灯を飾り、親子一緒のお楽しみ会となりました。金魚すくいにヨーヨー釣り、輪投げに父母の会主催のうちわづくりのコーナーも出来ました。教員も今年は法被姿で盛り上げました。短い時間でしたが夏祭りの雰囲気を味わい、楽しむ姿が見られました。お土産の花火をもらってみんな笑顔で終えることが出来ました。

また、9月17日には例年行っている大学との連携食育活動が行われました。今年も30人近くの学生が来園し、年長児に食育に関する寸劇を見せてくれました。野菜嫌いにならないような内容で園児もしっかり話を聞き、劇を楽しんでいる姿が見られました。当日の給食メニューも工夫し提供してくれました。メニューはカレーピラフ・はるさめスープ・ききょうゼリー・牛乳で、ききょうゼリーは、魔

法のシロップを掛けると色が変わるという不思議なゼリーでみんなビックリでした。また、園児全員がききょうの花の折紙を頂きました。

このような連携を通して、さらに食育に力を入れ、今後とも好き嫌いをせずに、美味しい給食をモリモリ味わう子どもを育てていきたいと思えます。



## 東京聖栄大学附属調理師専門学校での活動

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学園祭(調理祭)をはじめ、海外研修等の学校行事は中止又は縮小を余儀なくされました。その中でも、社会貢献・地域貢献の一環として取り組んでいる葛飾区男女平等推進センターとの連携事業である公開講座は、参加人数を制限し、三密(密閉・密集・密接)を避け、参加者はマスクの着用、体温測定、手指の消毒など感染予防対策を徹底した上で実施しました。同じく、葛飾区リサイクル清掃課との連携事業である「食べきり・使いきりメニューコンテスト」における優秀作品を利用しての調理講習会は中止になりましたが、代替事業として、講習会予定メニューのデモンストレーションを動画撮影し、葛飾区公式YouTubeに動画配信をいたしました。

令和2年度の卒業式典は、東京都に緊急事態宣言発令中であることから、実施内容を大幅に見直し、卒業証書及び各種表彰状の授与のみとしました。

生徒の就職については、今回の新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けた職種であり、求人数は昨年と比較すると半減しました。会社説明会も対面ではなく、オンラインを利用した企業も多く、対応には苦慮いたしました。就職希望者は、ほぼ全員が決断いたしました。

生徒募集に関しても、高校訪問を実施することが難しく、進学相談会等の中止が相次ぐ中、本校によるオンライン学校説明会や社会人、外国人留学生に対してインターネットを活用した情報発信等に取り組んだことにより、昨年度を上回る入学者を得ました。

新型コロナウイルス感染者数の減少がみられない中、令和3年度入学式においても、新入生のみのお出迎えとし、規模を縮小して行いました。入学式以降、新型コロナウイルス感染予防対策をよ

り徹底した上で、昨年のようなオンライン授業ではなく、対面での授業をスタートさせることが出来ました。

感染予防対策としては、調理実習における試食や昼食時は、各テーブルに飛沫防止の亚克力パネルの設置、自動洗浄による手洗い設備の完備の他、調理実習室や普通教室においては、空調設備を一新し、十分な換気対策を講じ、さらには集団調理実習には、電解水生成装置を設置し、衛生上の対策も行った上でスタートとなりました。

また、本校調理実習室、学生ホール等の貸出を行い、併設大学の授業や休憩時間における三密回避への協力も行いました。

新型コロナウイルス感染者が急増する中、予防対策の徹底により本校生徒の感染者は出でず、8月末までに教職員全員がワクチン接種を完了いたしました。

今年度も学校行事等は、殆どが中止又は縮小が決定しており、9月以降の授業再開においては、引き続き生徒への安全対策を行った上で、授業を進めています。



電解水生成装置

## 大学トピックス

### 葛飾区立中央図書館内展示コーナーにおける、 大学関係資料展示について

葛飾区との包括連携協定に基づく連携・協力事業の1つとして、令和3年8月2日～8月19日に葛飾区立中央図書館の壁面にて本学の大学紹介の展示が行われました。

両学科の紹介パネルの他、かつしか知っ得メモや、かつしかの元気食堂レシピ集、本学教員の著書等が展示されました。本学では葛飾区立中央図書館との連携・協力事業として大学紹介の展示の他に、例年、本学学生による絵本の読みきかせ会の実施や本学教職員おすすめ図書の紹介展示（ブックシェア）を実施しております。



### オープンキャンパス等開催について

本学では、5月より入試説明会・オープンキャンパス・受験対策講座・受験相談会をイベントごとの人数制限、事前申し込み制、当日の新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら学内で開催いたしました。

総合説明・キャンパス見学・個別相談等の内容と合わせて、7・8月のオープンキャンパスでは、見学先の施設ごとに先生方や学生を交えて本学の特色などについて紹介いたしました。

また、オプション企画として午前の部には「よく分かる実践調理講座」・「栄養・食品系体験講座」といった体験実習型の講座も開設し、参加した高校生や保護者の方へ本学の実学的な学びを直接体験して頂きました。



## 令和4年度 東京聖栄大学 学生募集要項（抜粋）

### 健康栄養学部（共学）/管理栄養学科・食品学科（募集定員：両学科共80名）

フードサイエンスコース・フードビジネスコース

入試区分	試験日	選抜方法
総合型選抜（自己推薦型）	12月18日（土）	調査書、大学入学希望理由書、面接、基礎学力検査（英・化基）
社会人入試	1期 12月18日（土）	調査書、経歴書、小論文、面接、学力検査（化基）
	2期 3月2日（水）	
一般選抜	1期 1月28日（金）	学力検査（1・2期は2科目受験、3・4期は1科目受験） *3・4期は調査書も積極的に活用。
	2期 2月12日（土）	
	3期 3月2日（水）	
	4期 3月22日（火）	

入試区分	試験日	選抜方法
大学入学共通テスト利用型	1期	*本学独自の試験は無し 大学入学共通テスト成績 (1・2期は高得点2科目審査、3・4期は高得点1科目審査) *3・4期は調査書も積極的に活用。
	2期	
	3期	
	4期	

- \*上記以外で、「編入学入試（食品学科3・2年次編入）」を実施。【試験日】1期：12/18（土）、2期：2/12（土）。
- \*一般選抜1期は、「入試成績優秀者特待生制度（成績上位者10%以内（最大5名）に対し、入学後300,000円支給）」あり。
- \*一般選抜、大学入学共通テスト利用型は、インターネット出願可能。
- \*各入試区分における出願期間、選抜方法等詳細については本学ホームページ並びに「令和4年度学生募集要項」をご確認ください。

### 受験相談会

12/4（土）

【開催時間】13:00～16:00\*要予約

当日は、総合説明、入試紹介、キャンパス見学、個別相談（入試、授業内容、学生生活、奨学金等）を行います。

\*オプション企画として、【午前の部（10:00～12:30）】には「よく分かる実践調理講座」・「栄養・食品系体験講座」を開催。

\*【オンライン】大学説明会・入試説明会・在学生トークライブ等も随時開催。日程等詳細は、本学ホームページよりご確認ください。



本学ホームページはこちら

＜お問い合わせ先＞

入試・広報課

TEL：03-3692-0238（直通）

E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL：03-3692-0211（代）

URL <https://www.tsc-05.ac.jp/>